

No.199

2023年
8月号

いなざわ 議会だより

TOPICS

意見交換会を開催	2
常任委員会の報告	4
臨時会・定例会の報告	7
質疑・一般質問	8
議決結果	15
9月定例会開催予定	16

稲沢市議会

検索



<http://www.city.inazawa.aichi.jp/gikai/index.html>

表紙：稲沢夏まつりにて（昨年8月27日撮影）

保育園の保護者×議員

開催日時 令和5年5月20日(土) 午前10時～11時30分

参加者 市内各公立保育園の保護者代表の方(25名)

「子育て・教育は稲沢で!」と宣言している本市において、現状の子育て環境を把握し、「より住みよいまち」とするために意見交換会を開催しました。

市内各公立保育園の保護者代表の方にご参加いただき、3グループに分かれ、貴重なご意見を伺いました。

詳細は、市議会のホームページに掲載の実施報告書をご覧ください。



稲沢市議会

グループA



グループB



グループC



参加者からの主なご意見

育児について

- ・病児保育がほしい
- ・夜間の小児科が少なすぎて困る
- ・保育園の安全対策をしてほしい
- ・命の学習が浸透してきているが稲沢でもできないか

公園について

- ・トイレや駐車場がない公園がある
- ・小さい子どもが安心して遊べる公園が増えると子育てしやすくなり、市外からの転入につながると思う

道路・交通について

- ・街路灯が少ない
- ・高齢者の運転が危険だと思うので、コミュニティバスを増やせないか

その他

- ・子ども議会があってもいい
- ・時代とともに色々なことが変化していくと思うが、その時々でできる対応をしてほしい



意見交換会



意見交換会当日は、託児ルームを設け、お子さま連れの方でも安心して参加いただける体制を整えました！

まとめ

コロナの影響で中止していた意見交換会を、皆様のご協力のもと、久しぶりに開催することが出来ました。当日は子育て真最中の保護者の皆様から、住みやすい稲沢市について多岐にわたり生の声をいただき、改めて考えさせられることも多く、大変勉強になりました。

特に保育園に関することや公園に関することについては、どのグループからもご意見をいただきました。いただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に役立ててまいります。

総務委員会

タブレット端末及び電子会議システム導入事業

(議事課)

620万円



議会運営において、議会と執行機関でデータ化した議会資料を共有し、ペーパーレス化の促進及び事務の効率化を図るとともに、議員活動において、オンラインによる意見交換、市民への情報提供・意見の収集に努める等、市民に開かれた議会の実現に寄与することを目的として、タブレット端末及び電子会議システムを導入します。

市制65周年記念 NHK公開番組の収録

(シティプロモーション課) 274万円

NHK公開番組の収録を実施します。市として会場の確保及び運営等に係る費用を負担します。

- 番組名：新・BS日本のうた
- 収録日：令和5年10月5日
- 会場：名古屋文理大学文化フォーラム
(稲沢市民会館) 大ホール

※地域づくり事業基金充当事業

パリオリンピック聖火リレー 中学生派遣事業

(シティプロモーション課) 1,447万円

オリンピック市の招待により、パリオリンピックの聖火リレーに中学生を派遣します。



本来であれば、議会報告会にて主な令和5年度新規(拡充)事業で紹介します。

各事業の詳細につきましては、課へお問い合わせください。

DX推進事業(デジタル推進課)

2,710万円

デジタル技術を活用し、更なる市民の利便性及び行政サービスの向上を推進するとともに事務の効率化を図ります。

【市民向け】

- ・スマート窓口推進事業
- ・遠隔相談システム導入事業
- ・オンライン申請システム導入事業

【庁内】

- ・デジタル人材育成事業
- ・ビジネスチャット導入事業
- ・ペーパーレス会議システム導入事業



ゼロカーボン推進事業(財政課・環境保全課・健康推進課・スポーツ課)

3,910万円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、電気自動車4台を配置します。また、公共施設41施設の照明についてLED照明器具を導入します。



※債務負担行為設定事業

(期間：令和5～15年度 限度額：2億6,800万円)

選挙手帳配付事業

(選挙管理委員会事務局)

29万円

18歳になり、最初の選挙を迎える市民に対し、投票した記録を残すことができる選挙手帳を作成、配付することにより、新有権者に継続投票の啓発を実施します。

官民連携手法導入関連調査 業務委託(秘書政策課)

1,000万円

総合文化センター跡地整備等への民間活力の導入判断等に必要な情報の整理を始め、官民連携手法の導入に向けた調査を行います。

※地域づくり事業基金充当事業



紙おむつ提供事業

(保育課)

4,320万円

保育園等で使用する紙おむつを保育園等で用意・提供することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、紙おむつに名前を記載する手間や登園時の荷物が減ることにより、保護者の負担を軽減します。

子ども医療費助成事業

(国保年金課)

7億1,600万円

子育て世帯に対する医療費の更なる負担軽減を図るため、令和5年4月診療分から高校生等(18歳に達した日以後の最初の3月31日までの方)の通院医療費の助成を開始します。

※地域づくり事業基金充当事業

乳児おむつ用品等配布事業

(子育て支援課)

4,420万円

保育園等に未入園の0歳から2歳児がいる家庭に、おむつ用品等の購入に使用できる引換券を配布します。

※地域づくり事業基金充当事業

○対象：令和5年4月1日以降に、出生・満1歳・満2歳となる児童がいる家庭(引換券2,000円×12枚分を配布)

○配布時期：令和5年9月頃開始予定

不妊治療費等補助

(健康推進課)

3,163万円

一般不妊治療費用の補助に加え、生殖補助医療の医療費(保険適用分)の自己負担額の一部を補助することにより、経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ります。



○補助額：不妊治療費のうち、保険適用分の自己負担額(年度の上限額25万円)

※地域づくり事業基金充当事業

発表する各常任委員会における、4ページから6ページにかけ

タイトルに記載してあります担当

※金額は万円未満を切り捨て

※ オレンジは新規事業、ブルーは拡充事業

屋内運動場空調整備事業

(設計)(庶務課)

2,400万円

風水害時優先開設避難所に指定されている中学校の屋内運動場に、空調設備を設置するための設計を行います。

市制65周年 開館40周年 記念特別展長谷川潔展の開催

(美術館)

1,319万円

荻須高德と同時期にパリに滞在した版画家、長谷川潔を京都国立近代美術館の所蔵作品により紹介します。

○会期：令和5年10月28日～12月10日

生活困窮者自立支援機能強化事業

(福祉課)

5,289万円

福祉ワンストップ相談をより充実するため、相談支援を行うための体制強化等を行い、福祉総合相談窓口の機能強化を図ります。

○拡充分：ひきこもり支援推進事業 SNS相談事業



新生児聴覚検査事業

(健康推進課)

428万円

新生児の聴覚障害を早期発見するため、医療機関で行う新生児聴覚検査に対し、費用の一部を助成します。

○助成額：1回あたり5,000円(令和5年4月1日以降に出生した後28日以内に検査した新生児が対象)



会議結果の報告

4月臨時会では、市長提出議案が3件、5月臨時会では、市長提出議案が1件、6月定例会では、市長提出議案が14件提出されました。

議決結果は15ページをご覧ください。ここでは各会議における一般会計補正予算を紹介し
ます。 ※万円未満切り捨て

令和5年4月臨時会

4月11日

議案第37号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第1号)…補正額2億1,000万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費を計上

…2億1,000万円

予防接種委託料や予防接種体制運営業務に係る委託料などとして経費を計上。



令和5年5月臨時会

5月19日

議案第38号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第2号)…補正額7億3,575万円

稲沢市住民税非課税世帯等臨時特別支援事業に係る経費を計上

…3億6,210万円

原油価格・物価高騰等に直面し、影響を特に受けている低所得世帯の生活支援のため、住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を支給します。

「稲沢デジタル商品券」発行事業に係る経費を計上

…1億7,300万円

地域経済の活性化、消費下支えを通じた生活者支援のため、西尾張地域では初となるデジタル商品券として、30%のプレミアムが付いた商品券を発行します。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金に係る経費を計上

…1億2,205万円

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受けている低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活支援を行うため、子育て世帯生活支援特別給付金を支給。対象児童1人あたり5万円を支給します。

学校給食費等支援事業に係る経費を計上

…3,755万円

給食費の値上げに伴う保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担が値上げ後の半額となるよう臨時交付金を活用し支援をします。また、食物アレルギーのため、弁当を持参する児童生徒の保護者にも同様の補助をします。

肥料価格高騰対策支援に係る経費を計上

…723万円

肥料価格高騰の影響を受けている市内の販売農家を対象に、肥料価格高騰分のうち3割相当額の1/2以内を補助します。



議案第52号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第3号)…補正額2,181万円

市制65周年PR事業に係る経費の計上 …1,000万円

市のイメージ及び知名度の向上と市民の方に魅力と愛着を感じていただけるように、ウルフドッグス名古屋とタイアップします。また、本市に興味を持っていただくきっかけ作りとして、名鉄名古屋駅及びJR名古屋駅において、デジタルサイネージを活用したPR動画を放映します。



平和中央公園インクルーシブ遊具整備に係る公園整備工事費の増額計上 …250万円

稲沢ロータリークラブ様から創立60周年記念事業として、寄付をいただき、インクルーシブ遊具の充実をはかります。

ひとり暮らし高齢者等を火事から守る住宅用火災警報器設置事業に係る経費の計上 …260万円

住宅用火災警報器を設置していない75歳以上の高齢者のみの世帯と65歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に住宅用火災警報器を1台無償で設置します。



Q…… 議員の質問
&A …… 市の答弁

質疑・一般質問 Q&A

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、12人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

12議員が登場

- | | |
|-----------|-----------|
| ・加藤孝秋 議員 | ・朽本敏子 議員 |
| ・黒田哲生 議員 | ・平床健一 議員 |
| ・岡野次男 議員 | ・近藤治夫 議員 |
| ・平野賀洋子 議員 | ・志智 央 議員 |
| ・北村太郎 議員 | ・曾我部博隆 議員 |
| ・津田敏樹 議員 | ・富田和音 議員 |

※発言順



防災対策について

公明党稲沢市議団
加藤 孝秋 議員



Q 市で実施している家具転倒防止器具等購入費補助制度の内容と本年度予算は。

A 補助金額は購入費の2分の1または上限3千円である。避難行動要支援者が同居している世帯や母子家庭等世帯については上限1万円であり、本年度の予算は20万円である。

Q 家具転倒防止器具等とはどのようなものか。

A 家具を固定する金具や器具、ガラス製品の落下防止器具、感震ブレーカー、飛散防止フィルムなどが対象となっている。

Q 災害時に開設する避難所数と避難者の収容人数は。

A 指定避難所は市内の全小中学校を始め40か所で、収容人数は12,890人である。

Q 避難所の受付業務や避難者の管理体制は。

A 避難者カードを記入してもらい管理する。今後はマイナンバーカード利用を考慮した避難所管理システムの構築を検討していく。

Q 大規模災害における被害を減らす対策は。

A 自身の命を守るため、家具の固定や食料、日用品、簡易トイレなどの備蓄を行う自助や近隣者同士の助け合いにより命を守る共助が非常に重要となる。



都市計画道路 祖父江稲沢線について

創生会
黒田 哲生 議員



Q 都市計画道路祖父江稲沢線のこれまでの進捗状況は。

A 当該道路は愛知県が事業主体となり、本市も積極的に関わりながら整備を進めている。祖父江町地内は、平成15年から整備を始め、名鉄森上駅から北に延びる都市計画道路五城森上線から祖父江町曲の交差点まで約2,050mの区間が概ね完了している。また、国道155号以東の約750mの区間が平成28年に完了、国道155号以西の約600mの区間は令和4年に完了した。未整備区間は片原一色町から祖父江町森上地内の約700

mで、昨年度事業化された。

Q 未整備区間は日光川、名鉄尾西線があるため、非常に難しい事業区間となっている。事業概要、工事期間及び市民への周知は。

A 未整備区間約700mのうち、日光川には約50mの橋梁を新設し、名鉄尾西線を越えるまでの約400mの区間は連続した1本の高架橋で整備する計画である。

工事期間は概ね10年を想定しているが県と連携を密にし、少しでも早く事業完了するよう努める。

また、市民への周知として、工事期間中は、適宜工事に伴う交通規制の情報を発信する等、生活環境への影響を少なくするよう努める。



現在の都市計画道路 祖父江稲沢線



犯罪・災害に強い まちづくりについて

市民クラブ
岡野 次男 議員



Q 下津防犯パトロール隊の場合、青パトの車1台で、税や保険、車検等に合計13万円、ガソリン代含め年17万円の維持費が必要である。稲沢市防犯交通安全推進協議会からの補助金は、1団体につき車1台であれば上限2万円で、差額の15万円は住民の負担となっている。住民で支えるには大き過ぎる負担である。活動継続のために補助金の拡大を求めるが、市の考えは。

A ご意見は、できる限り稲沢市防犯交通安全推進協議会へ伝えるが、最終的には推進協議会が総合的に判断し決定する。

Q 災害時には自宅避難ができることが理想であり、各家庭に災害用トイレを備蓄しておくことも重要である。本市のふるさと納税の返礼品に、いなっピーペール缶タイプ災害用備蓄トイレ(100回分セット)があるが、市内在住者も購入可能である。実際に災害用備蓄トイレなどの現品サンプルを紹介し、市民に災害用トイレの処理剤の使用方法や備蓄の必要性を理解していただくことが重要だと考えるが、いかがか。

A 出前講座やホームページ等において、災害用トイレのサンプルを紹介するなど、災害に備えた備蓄の重要性を啓発していく。



ふるさと納税返礼品災害用備蓄トイレ



訪問看護ステーション 「あしたば」について

創生会
平野 賀洋子 議員



Q 厚生労働省の統計によると、コロナ禍により入院よりも自宅療養を希望する人が増えているが、市民病院が開設した訪問看護ステーション「あしたば」の利用者数の推移は。

A 開設した令和元年度の利用者数は、2年2月からの2か月間で、13名。2年度は478名、3年度は922名、4年度は1,016名で、利用者数は年々増加している。

Q 「あしたば」の職員数など、スタッフの体制はどうなっているか。また、令和4年度の夜間の訪問回数と1日平均は。

A 令和元年度は5名体制、2年度は6名、3年度は9名、4年度は8名、5年度は9名。365日、夜間は交代で1名の職員が勤務しており、4年度の夜間の訪問回数は175回、1日平均0.5回で2日に1回訪問している。

Q 市内に小児が利用可能な訪問看護ステーションは何か所あるか。また、今後「あしたば」で小児の受け入れを行う予定は。

A 市内で小児対応している訪問看護ステーションは、「あしたば」を含めると6か所ある。これまで「あしたば」では、高齢者やがん末期の方の利用がほとんどで、小児の利用者はいない。今後は、小児医療の充実への希望に対応するため、小児の在宅看護の学びも深め、医療的ケア児や家族の支援なども行っていけるよう、早期に受け入れの準備を進めていきたい。





地域猫活動や 猫の譲渡会について

創生会
北村 太郎 議員



Q 猫への心無い餌付けが望まない繁殖をよび、被害の増加につながる可能性がある。市では、飼い主のいない猫の避妊手術費補助事業が行われているが、経過はどのようになっているか。

A 令和3年度から補助事業を開始し、これまでの実績件数として、3年度はメスの不妊手術が39件、オスの去勢手術が23件の計62件。4年度は、メスの不妊手術が34件、オスの去勢手術が18件の計52件であり、これらの実績件数は市のホームページに掲載している。

Q 地域猫活動や猫の譲渡会の実施について、開催できる場所の提供や団体の活動支援を行うことで、猫による被害軽減にもつながると考えるが、市の見解は。

A 現在、市内における地域猫活動団体の存在は把握していないが、情報収集に努めるとともに、市民の関心を高められるよう、市のホームページやチラシ等により周知・啓発する一方で、近隣市の状況も踏まえ、団体設立の際、あるいは設立後の支援等の可能性について、今後模索していきたい。譲渡会については、市内に地域猫活動団体が設立され、譲渡会実施の申出があった際に使用できる場所等について、公共施設としての制約はあるものの、前向きに検討していきたいと考えている。



コロナ禍後の教育 について

創生会
津田 敏樹 議員



Q 児童生徒にタブレットPCが導入され、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更となった現在までで変わったことは。

A タブレットPCを活用しながら児童生徒同士で意見の交流をすることや、児童生徒の習熟度に合わせた個別学習も可能となった。また、教科書による紙の情報だけでは伝わりにくい内容が、画像や動画を使って学習できたり、児童生徒が必要な情報を調べ、その情報を活用して学習を進める情報活用能力を身に付けたりする上でも有効であった。今後も、授業での日常的な活用を推進し、個別学習や

協働的な学習など、活用の幅を広げていきたいと考えている。

Q 愛知県が創設した「ラーケーションの日」について、本市はどう取り組むか。

A 「ラーケーションの日」とは、子どもたちが保護者と共に、校外で、体験や探究の学び・活動を自ら考え、企画し、実行することができる日のことをいう。そのねらいは、ワーク・ライフ・バランスの充実や休日の分散化をめざす「休み方改革」の側面と、子どもの教育のすべてを学校が抱え込むのではなく保護者の教育力を引き出すことをめざす教育的側面がある。また、「ラーケーションの日」は欠席扱いとせず、年に2回（令和6年度以降は3回）まで取得することができる。本市では、2学期に導入できるよう準備を進めている。





病児・病後児保育について

公明党稲沢市議団
朽本 敏子 議員



Q 病児・病後児保育を個人のクリニックに委託したり、保育園や子育て支援センターで行っている市町もある。本市はファミリーサポートセンターだけで対応しているが、やり方に課題はないか。

A 本市の病児・病後児保育事業については、ファミリーサポートセンターの預かり事業を活用して実施している。提供する会員は、医師や保健師などから専門的な研修を受け、小児科医との連携を図ることで緊急時にも対応している。今後も利用者の増加が見込まれるとともに、施設型の病児・病後児保育を希

望する声が高まっていることも認識しているため、引き続き市内の病院等で実施できるよう調整を進め、事業の拡充に努めていく。

Q 病児・病後児保育を稲沢市民病院で実施できないか。

A 院内託児所での実施を検討したが、体調を崩した児童が休息するための安静室を設けることができず、また、トイレや手洗い場などについてもそこを利用する児童と共用になるため、感染リスクが高くなる危険性がある。また、院内託児所の設備を活用する場合、厚生労働省が定めた実施要綱の要件を満たすことができず、大幅な改修もしくは増築などを行わないと、病児・病後児保育を行うことは難しいと考えている。



重層的支援体制整備事業を基にした居住支援と就労支援を含めたまちづくりについて

平床 健一 議員



Q 子どもにとっては、小規模人数での生活が良いので、より家庭に近い環境で運営する小規模住居型児童養育事業の支援推進が必要と考えるが、いかがか。

A 小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）は、現在市内にはない。家庭的な養育環境の下で、児童間の相互作用を活かしつつ養育を行うことは非常に重要と考えるので、今後も関係機関と連携して制度の周知に努めていく。

Q 今年度こども家庭庁が設置され、来年度孤独・孤立対策推進法が施行される。居住・就労支援についても、地域共生社会の実現のため、まちづくりという視点での取り組みが必要と考えるが、市長の見解は。

A 子どもや子育て世帯はもちろん、高齢者や障がい者など支援を必要とする方のために、重層的支援体制整備事業を令和4年度から実施し、居住・就労支援などに積極的に取り組んできた。今年度からは、新たにひきこもり支援事業、LINEによる相談事業を開始した。孤独・孤立対策推進法については、今後内容を確認し、できることから取り組んでいきたい。市としては、地域の福祉課題に対する相談支援体制を一層充実させるとともに、地域共生社会の実現に向け、稲沢市に住んでよかったと思えるまちづくりに努めていきたい。





市民の意見を重視した行政と
市民の参加促進について

創生会
近藤 治夫 議員



Q 市民め〜るに寄せられた意見・提言をホームページに公表しているが、件数は増えているか。また、どのように集計・分析しているか。

A 受付件数は、令和元年度は283件、2年度は530件、3年度は479件、4年度は410件となっている。年度末に担当課別、教育・窓口・道路など内容の区分別、意見・提言や要望・苦情など内容の種類別で件数を集計し、分析している。過去3年で幼児・義務教育への市民め〜るを非常に多くいただいた。

Q 寄せられた意見・提言について、有益な情報を探し出す技術であるテキストマイニングやAIの活用により分析し、公表に際し、グラフ化・データ化をすることで対策検討に繋がれると考えるが、いかがか。

A 各課業務に対する相談や問合せ、苦情、道路破損等の通報が約半数を占めているため、データ分析におけるテキストマイニングやAIの新たな導入は、今のところ考えていない。

市民の皆様が求める情報が検索しやすいよう、ホームページで公開している市民め〜るの内容について、今後は、現在利用中のAIチャットボットに情報を登録していく。また、意見の詳細を確認することで、市の課題の掘り起こしに繋がっていきたい。



放課後児童クラブについて

市民クラブ
志智 央 議員



Q 昨年度、市内26か所の放課後児童クラブのうち、新学期に定員超過したところが9か所、一時利用が増える夏休み前に定員超過したところが22か所あったが、対応は。

A 平均利用者数で見ると、基準を超過した児童クラブは3か所。通年利用の登録者は、すべて希望の児童クラブを利用いただいている。夏休みの期間は登録者が増加し、近隣の受け入れが可能な児童クラブに移動をお願いした方は6クラブ、89名。そのうち移動先で利用された方は78名、利用を取り消された方は11名である。

Q 児童クラブに預けられないかもしれない、というのは保護者にとって不安で切実な問題である。児童クラブの増設にさらに取り組むと共に、公共施設を有効活用して間借りを進めてはどうか。

A 定員超過の児童クラブは、建物や設置場所などの条件も踏まえ、計画的に整備を進めている。小学校内に児童クラブを設置する場合には、部屋の配置やトイレ等の設備、セキュリティなどの課題が考えられるが、その他の公共施設の利用も含めて、整備を進めていきたい。

放課後児童クラブの登録状況（令和4年度）

児童クラブ名	定員	登録者数 (5月)	登録者数 (8月)	児童クラブ名	定員	登録者数 (5月)	登録者数 (8月)
福元西	74	122	174	新田	35	24	27
福元北	40	59	65	大黒東	52	119	123
小笠	90	81	131	大黒東 いっしょー	26	17	27
福元東	107	75	122	磯内	29	44	49
福元東第2	115	49	85	大野	29	29	33
高野東	41	34	44	高野	51	29	36
大黒西	51	51	66	藤元江	28	28	47
岸田一色	58	51	40	野川	29	13	27
清水	32	36	41	水崎	29	13	20
磯分	26	24	31	津原	40	30	34
千原	31	30	34	志智	33	24	24
千原第2	117	88	122	大野	39	47	47
千代田	54	74	110	藤原(南端)	41	79	129

※は定員オーバー



保育士の配置基準について

曾我部 博隆 議員



Q 痛ましい事故による不適切保育を起こさないため、保育士等の配置基準を充実させることが緊急に求められていると考える。

0歳～3歳児は25年前から、4歳～5歳児は75年前から基準が変わっていないが、本市の配置基準の現状は。

A 1歳児は、愛知県が国より手厚い独自の配置基準を設け、子ども5人に対し保育士1人とし、3歳児は民間のみに適応されるが、15人に対し保育士1人としている。その他は国の基準となっている。

Q 全国社会福祉協議会の報告書によると、諸外国では日本の2倍の配置基準である。市独自で保育士の加配を行い、国の配置基準を上回る保育士を配置する基準を設けて保育士を充実するべきではないか。

A 本市の財源のみで対応することは難しく、保育士の確保は大きな課題となっており、国に先んじて見直すことは考えていない。園によっては、障がい等で支援が必要な子ども等について、国の配置基準の内数で加配を行ったり主任保育士が入ったりするなど、大人数を複数の保育士で見ると見るよう努めている。また、保育支援者等の人的支援を行うなどして、保育士が子どもに向き合う時間を増やすよう努めている。



小中学校の教員不足の対応と学区の見直しについて

市民クラブ
富田 和音 議員



Q 愛知県で教員不足が深刻となっている中、市でも厳しい現状だが、教員の補充はどのように行っているのか。

A 市教育委員会に登録済の講師を確認し、条件が合う登録があれば紹介する。また、教員人材銀行で探すこともある。現状では、登録者数が少なく、なかなか補充者が見つからない。その場合の多くは、校務主任、教務主任、教頭が、担任や教科担任をすることで対応している。

Q 祖父江町のナビタウン(団地)の小学生は徒歩40分の領内小学校に通っている。ナビタウンが出来た30数年前には、徒歩15分の牧川小学校への学区変更の要望を何度か出したが児童数が多く要望は通らなかった。今は児童数が減り、領内小学校へは幹線道路を2つも越えるため、交通事故のリスクも格段に高い。子どもを事故から守るという観点からも、学区を見直せないか。

A ナビタウンが出来て30年ほどが経過し、交通事情等の状況が変化してきていることや、当時から牧川小学校に通いたいという希望があったことなどを踏まえると、個別に対応することは可能だと考える。学校施設が受け入れ可能かどうかを確認した上で、その事情を総合的に考慮し、指定校変更について柔軟な対応をしていきたいと考えている。



4月臨時会・5月臨時会・6月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第35号	稲沢市税条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第2号	専決処分報告について	—
議案第36号	稲沢市都市計画税条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第3号	稲沢市国民保護計画の変更の報告について	—
議案第37号	令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第1号）	全会一致可決	報告第4号	令和4年度稲沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—
議案第38号	令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数可決	報告第5号	令和4年度稲沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
議案第39号	稲沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第6号	令和4年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
議案第40号	稲沢市介護保険条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	報告第7号	令和4年度稲沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
議案第41号	稲沢市印鑑条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第8号	令和4年度稲沢市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
議案第42号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第9号	令和4年度稲沢市集落排水事業会計予算繰越計算書の報告について	—
議案第43号	稲沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	報告第10号	令和4年度稲沢市土地開発公社決算の報告について	—
議案第44号	稲沢市火災予防条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	報告第11号	令和5年度稲沢市土地開発公社資金計画及び予算の報告について	—
議案第45号	R5橋梁改築工事（上部工1期施工）の請負契約の締結について	全会一致可決	報告第12号	令和4年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業報告及び収支決算の報告について	—
議案第46号	（仮称）井之口調理場新築工事の請負契約の締結について	賛成多数可決	報告第13号	令和5年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業計画及び収支予算の報告について	—
議案第47号	領内小学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致可決	意見書案第1号	学校給食費の無償化を求める意見書	全会一致可決
議案第48号	法立小学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致可決	意見書案第2号	不登校児童生徒に対する支援を求める意見書	全会一致可決
議案第49号	絵画（荻須高德作「ポスターの壁」20号）ほかの物品供給契約の締結について	全会一致可決	請願第2号	インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願	賛成少数不採択
議案第50号	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の物品供給契約の締結について	全会一致可決	請願第3号	JR清洲駅西地区開発に関する請願	賛成多数採択
議案第51号	稲沢市道路線の認定について	全会一致可決			
議案第52号	令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第3号）	全会一致可決			

賛否が分かれた議案等

議案番号	創生会											市民クラブ							公明党 稲沢市 議団	会派に 属さない 議員					
	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部猛	出口勝実	六鹿順二	岡野次男	富田和音	志智央	木全信明	星野俊次	加藤孝秋	朽本敏子	平床健一	曾我部博隆
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 出口勝実議員は議長のため採決には加わりません。

（○は賛成、●は反対）

表彰

全国市議会議長会から次の議員が議員15年表彰されました。



六鹿順二 議員 網倉信太郎 議員 木村喜信 議員

会議録と本会議の様子をご覧ください

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどをご覧ください。

本会議の録画映像については、右記の二次元コードを読み取り、ご覧ください。



お詫びと訂正

議会だより5月号に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。

- 3ページ「令和5年度新規(拡充)事業」
- ・ ページ左下の「ゼロカーボンを推進」の金額誤) 1,400万円 正) **3,900万円**
 - ・ ページ左下の「DXを推進」の金額誤) 3,900万円 正) **2,700万円**

ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。なお、ホームページ上に訂正後の議会だよりを掲載しております。



次回の定例会は

8月18日(金)開会

質疑・一般質問

- ・ 8月23日(水)
- ・ 8月24日(木)
- ・ 8月25日(金)
- ・ 8月28日(月)(予備日)

常任委員会

- ・ 8月29日(火) 総務委員会
- ・ 8月30日(水) 文教厚生委員会
- ・ 8月31日(木) 経済建設委員会

閉会

- ・ 9月5日(火)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和5年11月発行予定です。

発行/稲沢市議会
編集/広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。